

～私達が建設現場の魅力を伝えます～

学校の先輩が現場の魅力を伝える“インターンシップ”の取り組み

2016 “地域インフラ”
関東 サポートプラン

江戸川河川事務所では、工事受注者(下請企業を含む)が、建設業のイメージアップや未来の新たな担い手の確保のために行う現場見学会やインターンシップなどの取り組みを積極的に支援していきます。

●働きやすい現場、増えています！！

私は、埼玉県春日部市で江戸川の堤防を大きくする工事の担当技術者として従事しています。まだ入社2年目ですが、会社や家族など様々な方々にサポートされながら日々努力しています。

現場では初めてのことがばかりで覚える事がたくさんありますが、毎日楽しく仕事をしています。



H27西宝珠花地区堤防整備工事
担当技術者 堀 愛利

今回、当現場で母校の熊谷工業高校のインターンシップを実施しました。

参加してくれた後輩達は、学校では見ることが出来ない大きな重機や自動追尾光波に目を光らせながら真剣に取り組んでいました。実は私も1年生の時に当社のインターンシップに参加していて、その時お世話になった方とこの現場を担当しています。とても懐かしいです。やはり普段の学校生活では体験できない事をインターンシップで体験したことにより、その当時の進路選択に大きな影響を与えてくれました。

現在、建設業界では担い手不足が深刻化していますが、このようなインターンシップや現場見学、社会科見学等を行っていくれば、学生も建設業界に興味をもってくれると思います。最近では、i-constructionや週休2日制の導入など、建設現場のワークスタイルが変わり始め、働きやすい現場が増えてきているので、建設業に少しでも興味のある若い世代の皆さん、是非現場で働いてみませんか！！

【インターンシップに取り組んでいる工事の一例】

工事名:H27西宝珠花地区堤防整備工事

施工者:(株)ケージーエム

対象:埼玉県立熊谷工業高校 土木科・建築科1年 3名

実施日:平成29年1月31日(火)

実施概要:

- ①建設現場の概要や施工方法・管理方法などに関する講義
- ②現場作業体験(電子野帳や自動追尾TSによる測量体験等)

今回紹介した事例は、インターンシップの一例です。
他工事でも様々な現場体験の受入などを行っています。



自動追尾TSによる測量体験

工事概要等の講義風景



【インターンシップに参加した学生からの感想(抜粋)】

- ・少人数で測量をしていることに驚いた。
- ・学校にない自動追尾システムのトータルステーションの説明を聞き、測量もミスが少なくなってきたと感じた。
- ・(株)ケージーエムの担当の方が、やさしく丁寧にわかりやすく教えて頂きとてもいい経験が出来ました。
- ・学校には無い機械や現場が体験でき、貴重な経験が出来た。
- ・実際の現場でしかわからないことも有りとても参考になった。

担当工事の施工状況

